

## 「ナガミヒナゲシ」駆除のおすすめ

ナガミヒナゲシは、1961年に世田谷区で最初に発見された比較的新しい外来植物で、近年、当マンション周辺にも急速に広がっています。オレンジ色の花が可憐で美しいのですが、もともと地中海沿岸原産の雑草で、驚異的な繁殖力で生態系へ影響を及ぼす可能性もあるとのこと。

(2018年、NHKやTBSの情報番組でも放送されました)



↑  
当マンション内(駆除しました)



↑  
近隣の道端

花と未熟な実の状態 →



一つの実に平均1600粒の種子が内蔵されおり、一個体から100個の実をつけることもあるので、最大で一個体から15万粒の種子が生産され、未熟な種子でも生育するそうです。

**駆除するときには、種を落とさないようにしてください。**

### ＜農業環境技術研究所＞ 春に気をつける外来植物：ながみひなげし

↓  
<http://www.naro.affrc.go.jp/archive/niaes/sinfo/publish/niaesnews/090/09003.pdf>

ナガミヒナゲシはアレロパシー活性が強く、雑草化リスクが大きいので、広がらないようにする必要があります。

アレロパシーとは、ある植物が作る化学物質が、他の植物・微生物・昆虫・動物などに、直接または間接的になんらかの作用を及ぼす現象。

アレロパシー活性を評価項目に含む改良FAO方式で評価すると、特定外来生物に指定されている植物に匹敵するか、むしろこれらを上回る高いリスク点数が得られました。

文責および問合せ先： 090-6517-8555(みつとみ) 植栽業者のアドバイスにより本案内を作成しました。